

冬休みから増える問題投稿について

冬休み期間は、普段よりもイベントが多い時期です。今回は、例年この時期になるとよく見られる投稿について、お伝えします。

飲酒・喫煙をしているような投稿

冬休み期間は、クリスマスやお正月などのイベントがあり、友達同士でパーティーを開いたり、遊びに行ったりした様子をインターネット上に投稿しやすい、話題が多い時期です。なかには、仲間内で盛り上がり飲酒や喫煙をしてしまい、さらにその様子をSNSに投稿してしまう子どもが見受けられます。

実際に「酒がうまい」「ニコチンが足りてない」など、未成年にも関わらず飲酒や喫煙に関する投稿をする子どもがいます。

一方で、投稿内容の文面には飲酒や喫煙に関して記載していなくても、投稿した写真で飲酒や喫煙が疑われることもあります。

インターネット上では、投稿内容が事実かどうかは関係なく、その投稿を見た人が不適切だと思った場合、拡散され、炎上してしまう可能性があります。SNSなどに投稿する際には、投稿を見た人に「どう伝わるか」ということを意識することが大切です。

添付写真をみると、タバコを持っているように見える。



冬休み限定で不良っぽくしてみたw

投稿文には飲酒の記載はないが、添付写真内にお酒が映り込んでいる。



年越し前のパーティー♪最高に楽しかったー♡♡

個人情報 が漏れてしまうような投稿



第一志望の高校合格したよ！



勉強頑張ってよかった！

他にも、冬休み期間明け頃から受験結果がわかってくる時期に入り、合格通知や内定通知を写真に撮り、SNSに載せている投稿をよく見かけるようになります。

実際にこのような投稿をした子どもたちは、進路が決まって嬉しくなり「祝ってほしい」「自慢したい」「誰かに共有したい」といった気持ちから行動してしまったのかもしれません。しかし、合格通知・内定通知には、氏名や進学する学校名などの個人情報が記載されています。

左の二つの例ではどのような個人情報が特定できるでしょうか

上の例

写真：合格通知から、**通う予定の学校、学科、名前**が特定可能。

投稿文：「次高校1年生＝15歳」など**年齢**が特定可能。

下の例

写真：制服から、**通っている学校**が特定可能。

投稿文：合格発表のプレートで、**通う予定の学校**が特定可能。

投稿内容によっては簡単に個人情報が流出してしまうため、十分に注意が必要です。

楽しいイベントが多い冬休み期間は、危機感が薄れる傾向にあります。冬休みに入り、子どもたちへのSNS投稿に対する指導が難しくなる前に、今一度、SNS上に違法行為を疑われるものや個人情報を載せることの危険性を伝え、注意を呼びかけましょう。